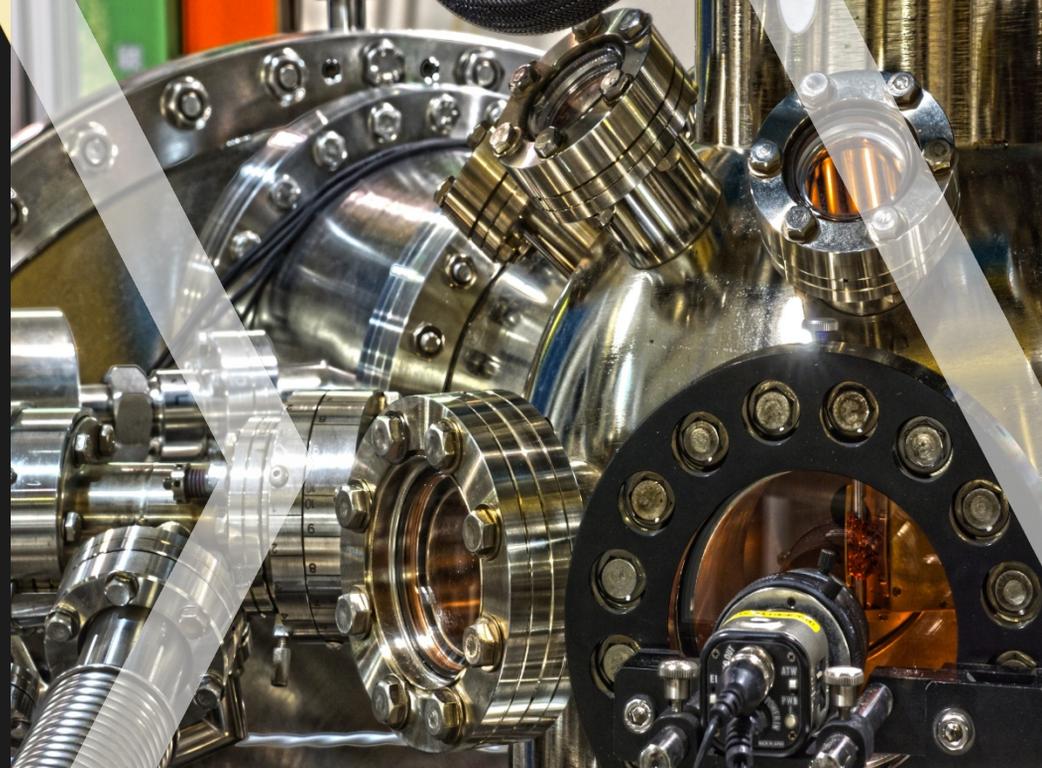


研究基盤 のための 特別な 一週間



研究基盤イノベーション分科会・文部科学省 連携企画 研究基盤EXPO 2021

2021 1.22-29

1月22日
(金)

・第4回新共用事業
連絡協議会

・第8回北海道大学
オープンファシリティシンポジウム

オンライン

1月25日
(月)

・令和2年度 国立大学法人機器・分析センター協議会
シンポジウム

オンライン

1月26日
(火)

・大学技術職員組織研究会シンポジウム

オンライン

1月27日
(水)

・文部科学省先端研究基盤共用促進事業シンポジウム #1

オンライン

1月28日
(木)

・研究基盤イノベーション分科会 (第2回) #2
・第7回設備サポートセンター
整備事業シンポジウム

オンライン

1月29日
(金)

・研究基盤協議会
プライベート

オンライン

研究基盤協議会：研究基盤イノベーション分科会が主催する、文部科学省事業採択校の有志を中心に、全ての大学・研究機関を含む多様なステークホルダーによる新たな協議の場として2021年設立予定

2021年
4月以降

・研究基盤協議会キックオフイベント

#1 共催：研究基盤イノベーション分科会 #2 共催：文部科学省

※詳細はQRコードからご確認ください。

※主催：研究基盤イノベーション分科会、共催：文部科学省、後援：東京工業大学



研究基盤イノベーション分科会
Innovative Research Infrastructures for STI Subcommittee (IRIS)



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

研究基盤EXPO 2021 プログラム

ex21-①	1月22日(金) 10:00~11:30	第4回新共用事業連絡協議会 新共用事業の総評とふりかえり(仮)
ex21-②	1月22日(金) 13:30~18:00	第8回北海道大学オープンファシリティシンポジウム 「北大コアファシリティ構想」および「先端研究設備整備補助事業(研究活動再開等のための研究設備の遠隔化・自動化による環境整備)」の初年度報告
ex21-③	1月25日(月) 13:00~15:00	令和2年度 国立大学法人機器・分析センター協議会 シンポジウム 大学等の設備共用施設が最大の成果を生み出す環境とは ~人材活用の観点から~
ex21-④	1月26日(火) 13:00~16:30	大学技術職員組織研究会シンポジウム 「研究基盤を支える技術職員の組織とキャリアパス」
ex21-⑤	1月27日(水) 13:30~17:00	文部科学省先端研究基盤共用促進事業シンポジウム 共催: 研究基盤イノベーション分科会 ポストコロナ社会における研究環境のデジタル・トランスフォーメーション(DX)
ex21-⑥	1月28日(木) 9:00~12:00	研究基盤イノベーション分科会(第2回) 共催: 文部科学省 コアファシリティ構築支援プログラムと戦略的経営に資する研究基盤のあり方
ex21-⑦	1月28日(木) 13:30~17:00	第7回設備サポートセンター整備事業シンポジウム 設備サポートセンター整備事業での成果と今後の展開
ex21-⑧	1月29日(金) 13:00~16:50	研究基盤協議会プレイベント 若手×大学×文科省 対話で考える研究基盤

研究・イノベーション学会 研究基盤イノベーション分科会



分科会設立からわずかな期間を経て令和2年1月30日、宮崎大学・東京工業大学の後援を受け、宮崎観光ホテルにて、「研究基盤イノベーション分科会(第1回)研究基盤を研究し、イノベーションを起こす仕組みの構築へ～」が開催されました。発表者ならびに150名を超える参加者は、研究者、技術職員、事務職員、URAなど、本分科会が基本理念とする「すべてのステークホルダーが集まる場」にふさわしい方々で、充実した発表に続き、質疑応答ではフラットな場へと雰囲気を変え、様々な立場の方からの意見を頂くことが出来ました。

今年度はオンライン環境を活かし、「研究基盤のための特別な一週間」と題して文部科学省とともに研究基盤EXPO2021を開催します。これまでイベントに参加できなかった方も是非ご参加ください。

研究基盤EXPO2021 実行委員長 江端 新吾



【本分科会について】

新型コロナウイルスの感染拡大による研究活動停滞への対応は、科学技術・イノベーション政策における最重要課題の一つであり、研究活動を支える研究基盤にとってもその在り方を幅広い分野の専門家とともに解決すべき時にある。

そのような中、研究基盤イノベーション分科会が研究者・技術職員・事務職員・URA等が一堂に会して上記課題を議論する「場」として設立されたことは、まさに時宜を得たものである。

研究基盤に関するイノベーションの創出に向けた議論は世界にも先駆けたものであり、この分科会においてそれぞれが所属する分野・立場を越えた積極果敢な議論が展開されることを期待する。

原山 優子(研究・イノベーション学会会長(2020年度)/東北大学名誉教授)

Open Facility Symposium

2021.1.22 Fri 13:00-18:00 (受付 12:30-)

オンライン開催 / 事前参加申込制 / 参加無料

北海道大学オープンファシリティシンポジウムは、今年度で開催 8 回目を迎えます。

今回は、令和 2 年度採択の先端研究基盤共用促進事業「北大コアファシリティ構想」および同年度採択の「先端研究設備整備補助事業（研究活動再開等のための研究設備の遠隔化・自動化による環境整備）」の初年度報告を行います。現在、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動、働き方、研究・教育活動など様々な面で変革が求められています。文部科学省、他大学の関係者にもご参加いただき、ニューノーマル時代における新たな研究・教育活動の在り方を考える場を設けさせていただきます。

— プログラム —

- 13:00 開会の辞
-13:05
- 13:05 基調講演 (質疑 10 分)
-13:40 文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発基盤課
- 13:40 講演
-13:55 『先端研究基盤共用促進事業 北大コアファシリティ構想事業の概要』
網塚 浩 北海道大学グローバルファシリティセンター センター長
- 13:55 講演
-14:10 『北大コアファシリティ構想事業 技術支援人材育成プログラムについて (仮)』
五十嵐 敏文 北海道大学技術支援本部 副本部長
(質疑応答)
- 14:25 招待講演 (質疑 10 分)
-14:55 『先端研究基盤共用促進事業 東工大コアファシリティ構想』
江端 新吾 東京工業大学 戦略的経営オフィス 教授 / 総括理事・副学長 特別補佐
/ 内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 上席科学技術政策フェロー
- 15:10 令和 2 年度 GFC 事業経過報告 (質疑 10 分)
-16:20
- GFC 事業推進室
 - オープンファシリティ部門
 - 機器分析受託部門
 - 試作ソリューション部門
 - 設備リユース部門
 - 国際連携推進部門
- 16:35 パネルディスカッション
-17:55 『ニューノーマル時代の新たな研究・教育活動の在り方を考える』
- 【モデレーター】 ● 網塚 浩 北海道大学 GFC センター長
- 【パネリスト】 ● 文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発基盤課
● 江端 新吾 東京工業大学 戦略的経営オフィス 教授 / 総括理事・副学長 特別補佐
● 五十嵐 敏文 北海道大学 技術支援本部 副本部長
● 出村 誠 北海道大学 先端生命科学研究院 教授
● 大谷 文章 北海道大学 触媒科学研究所 教授
● 佐々木 隆太 北海道大学 GFC 副センター長
- 17:55 閉会の辞
-18:00

申込方法 ※ 締切：2021年1月15日(金)

右の QR コードより必要事項を入力の上お申込みください

*当日参加の受付は行いません。事前の参加申込をお願いいたします。

お申込みいただいた方全員に、後日 WEB 配信接続 URL をお送りいたします



お問い合わせ

北海道大学グローバルファシリティセンター (担当：中村)

e-mail : event@gfc.hokudai.ac.jp

先端研究基盤共用促進事業シンポジウム2020

産学官の全ての研究者に開かれた研究設備・機器の実現に向け、大学・研究機関の先進的な取組を紹介します。また、研究基盤のプラットフォーム化の活動やネットワークの活動、ポストコロナ社会における研究環境のデジタル・トランスフォーメーション（DX）推進のための活動を紹介します。

日時 令和3年1月27日（水）13時30分～17時00分

会場 オンライン開催（Cisco Webexの予定）

締切 令和3年1月26日（火）17時00分

主催 文部科学省 **共催** 研究基盤イノベーション分科会（IRIS）

参加費

無料

事前申込
必要

プログラム

13:30 ～ 13:40 開会挨拶 仙波 秀志（文部科学省・研究開発基盤課長）

13:40 ～ 15:05 共用プラットフォーム形成支援プログラムの成果報告

NMR共用PF	木川 隆則（理化学研究所・細胞構造生物学研究チームリーダー）
光ビームPF	小杉 信博（高エネルギー加速器研究機構・物質構造科学研究所長）
原子・分子の顕微イメージングPF	込本 尚義（北海道大学 大学院理学研究院・教授）
風と流れのPF	坪井 誠司（海洋研究開発機構 地球情報基盤センター・情報技術担当役）
アトミックスケール電磁場解析PF	品田 博之（日立製作所 基礎研究センタ・技術顧問）

**15:05 ～ 15:20 先端研究設備プラットフォームプログラムの概要説明
下須賀 雅壽（文部科学省・研究開発基盤課長補佐）**

15:30 ～ 16:30 研究機器相互利用ネットワーク導入実証プログラム(SHARE)の成果報告

技学イノベーション機器共用NW	齋藤 信雄（長岡技術科学大学 工学部・准教授）
阪奈機器共用NW	古谷 浩志（大阪大学 科学機器リノベーション・工作支援センター・准教授）
ABC課題解決型共用システムNW	松尾 光一（慶應義塾大学 医学部・教授）
次世代医療研究開発基盤NW	小柴 生造（東北大学 東北メディカル・メガバンク機構・教授）

**16:40 ～ 16:55 リモート化・スマート化の推進について取組説明
下須賀 雅壽（文部科学省・研究開発基盤課長補佐）**

16:55 ～ 17:00 閉会挨拶 仙波 秀志（文部科学省・研究開発基盤課長）

参加申込方法

以下の事前登録フォームからお申込みください

https://pf.mext.go.jp/admission/form_0001-37-2-2.html

※ご記入いただきました個人情報は「先端研究基盤共用促進事業シンポジウム2020」のために使用するもので、他の目的には使用いたしません。



研究基盤イノベーション分科会2020 (第2回)

1月28日
(木)
9:00 - 12:00

コアファシリティ 構築支援 プログラム と 戦略的経営に資する研究基盤 のあり方

9:00-9:05 開会挨拶
名古屋工業大学 理事・副学長
IRIS副主査・研究開発基盤部会委員 江龍 修

9:05-9:15 趣旨説明
東京工業大学 総括理事・副学長 特別補佐
IRIS主査・研究開発基盤部会委員 江端 新吾

9:15-9:30 招待講演
科学技術・学術審議会 委員
研究開発基盤部会 部会長 岸本 喜久雄

9:30-10:45 「コアファシリティ構築支援プログラム」成果報告
北海道大学 理事・副学長 (研究、産学官連携、情報担当) 増田 隆夫
東京工業大学 理事・副学長 (研究担当) 渡辺 治
金沢大学 理事・副学長 (研究・社会共創担当)
山口大学 理事・副学長 (学術研究担当) 和田 隆志
早稲田大学 副総長 (研究推進担当) 上西 研
笠原 博徳

10:45-10:55 休憩

10:55-11:55 パネルディスカッション
ファシリテーター : 江端 新吾
パネリスト (予定) : 【北大】増田理事・副学長 【東工大】中村吉男
研究基盤戦略室長 【金沢大】和田理事・副学長
【山口大】上西理事・副学長 【早大】調整中
コメンテーター : 江龍理事・副学長、岸本部会長

11:55-12:00 閉会挨拶
文部科学省研究開発基盤課長 仙波 秀志

第7回 設備サポートセンター整備事業シンポジウム

設備サポートセンター整備事業での成果と今後の展開

日時：令和3年1月28日（木）13：30～17：00

場所：Zoomによるオンライン開催

<https://setubi.ctg.u-toyama.ac.jp/event/toyamasymposium0128/>

併催：研究基盤イノベーション分科会（第2回）9:00～12:00

昨年度、研究基盤イノベーション分科会（IRIS）を宮崎大学様のご協力のもと立ち上げることができ、研究基盤イノベーションに関わる多様なステークホルダー（教員・技術職員・事務職員・URA等）が実質的な成果や問題意識を共有する場として活動を行ってきました。

今年度は、IRISと文部科学省の共同企画で「研究基盤EXPO2021」を2021年1月22日（金）から29日（金）までの1週間にわたり開催することとなり、IRIS主催の企画として、コアファシリティ事業採択校の経営陣をお招きし、各事業構想についてご紹介いただいたのち、経営視点からの研究基盤について議論をする場を設ける運びとなりました。

オンラインでの開催となりますが、大変濃密な3時間となりますので、[QRコード]よりぜひご参加ください。



シンポジウムプログラム

13:30～17:00

事務局から開催アナウンス 13：30

開催挨拶 13：35

富山大学長 齋藤 滋

来賓挨拶 13：40

富山県商工労働部長 布野 浩久 氏

基調講演Ⅰ 13：45

「共同利用・共同研究体制の強化・充実について」
文部科学省研究振興局学術機関課
研究設備係長・研究支援係長 齋藤 正明 氏

基調講演Ⅱ 14：05

「研究基盤政策の動向について（仮）」
文部科学省科学技術・学術政策局研究開発基盤課
研究基盤整備係長 水田 剛 氏

事業総括 14：25

富山大学 設備サポート・マネジメントオフィス

休憩 14：40

パネル討論会 14：55

- ・第1部 「設備サポートセンター整備事業での成果と今後の展開」
- ・第2部 「今後の継続的の大学連携について」

※ファシリテーター：
設備サポート・マネジメントオフィス

※パネラー：
文科省学術機関課
北海道大学/群馬大学/東京工業大学
東京農工大学/名古屋工業大学/京都大学
岡山大学/山口大学/鳥取大学/宮崎大学

ポスターセッション 16：10

「これまでの成果と今後の展開」採択20大学

施設見学会(質疑) 16：40

閉会挨拶 16：55

富山大学 副学長・理事 北島 勲

主催：富山大学 <http://www.u-toyama.ac.jp>後援：富山県 <http://www.pref.toyama.jp>

お問合せ：設備サポート・マネジメントオフィス

TEL:076-445-6713 E-mail:setubi@ctg.u-toyama.ac.jp





若手

×

大学

×

文科省

未来の主役が今日の主役

精鋭が未来の研究基盤を議論する

対話で考える研究基盤

ex21-⑧

研究基盤協議会プレイベント

1月29日(金)

13:00~16:50

13:00~13:05

オープニングリマークス

13:05~14:05

持ち込み企画 1

若手技術職員×1年生ゼロ局員での政策対話

14:05~15:05

持ち込み企画 2

これからの研究基盤運営のポイント

15:05~16:35

持ち込み企画 3

Science Talks TV オンラインライブ

16:35~16:45

研究基盤協議会設立について (IRIS主査 江端新吾)

16:45~16:50

グランドフィナーレ

※各企画の内容・開始・終了時刻は多少変わる可能性があります。